

義和団事件以降の中国

- 1) 西太后政権は光緒新政を行った。 No.165参照
科挙の廃止 (1905)、国会開設公約を含む憲法大綱の発布 (1908) 等。
1911年、清朝は責任内閣制を採用、大臣の半数以上を満州人貴族とする内閣が成立した。
- 2) 立憲派の運動の高まり
成長した民族資本家、商人たちは、【1: 〃】を要求して国会開設運動を展開した！彼らは【2: 〃】と呼ばれた。19世紀末に戊戌の変法を担った康有為らが光緒帝の支持さえ得られれば中国を変えられることができると信じていたのに対して、立憲派は自らの運動を大衆運動として展開すべきことを自覚していた。だからこそ、清朝は立憲派の運動の急進化を恐れて、前掲 1) を行った。この時期の立憲派の主な指導者は【3: 〃】1853-1926 ちょうけん である。彼は実業家として中国で最も早くに民族資本による紡績などの軽工業を創業した人物で、後掲 3) の革命運動とは対立した。
1905年はエポックメイキングな年であった。
①アメリカで高まったアジア排斥同盟の活動に抗議して、中国国内でアメリカ製品に対する大規模な不買運動が展開され、アメリカ本土やハワイ在住の中国人もこれを支持した。
②粵漢 えっかん 鉄道 (武漢-広州) のアメリカ資本からの買い戻しを初例として、中国の民族資本家を中心に鉄道利権などの【4: 〃】が始まった。ついで蘇杭甬鉄道 (蘇州-寧波) をイギリス系資本から買い戻し、運動は全国に波及した。立憲派の郷紳や一部の地方官憲が指導し、かなりの大衆的基盤をもつ運動だった。回収後は民族資本が経営したが、経営実績は芳しくなかった。
③中国同盟会に結集した革命派は華南・華中の各地で武装蜂起を行ったが失敗。立憲派と革命派の溝は深く、革命派が①や②の運動と共闘することはなかった。
- 3) 清朝の打倒をめざす革命運動が本格的に始まった。後述。
アヘン戦争後、華僑は激増。海禁政策をとっていた清朝から脱法者とされたこともあって、華僑の中には、反清運動の援助者となる者も少なくなかった。「戊戌の政変」に敗れ亡命した康有為、梁啓超の活動を支えたのも華僑、孫文がハワイで興中会を起こした時も中心となったのは華僑だった。留学生たちは経済的に恵まれ進取の気風をもった民族資本家の子弟が多く、反清的気風を持っていたので革命運動に協力したり組織者になったりした例が少ない。立憲君主政を目指す立憲派と清朝打倒を目指す革命派は鋭く対立したが、それはひとつには、華僑および留学生という同じ支持母体の中で影響力を競っていたためでもあった。

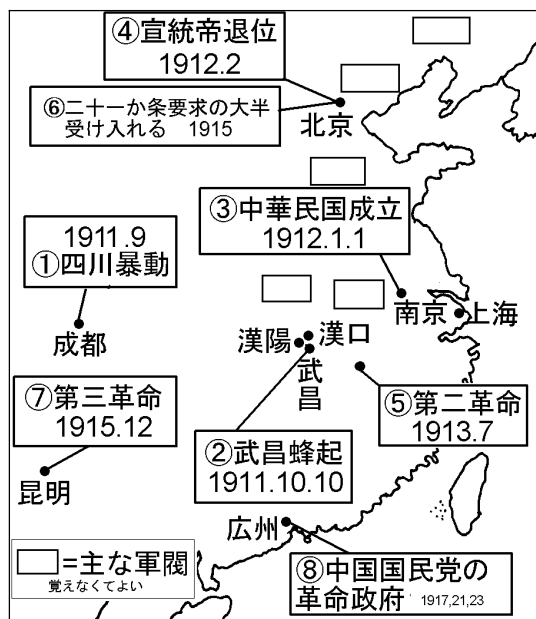
「国父」孫文、医学生から革命家に転身

- 1) 19世紀末以降の外国勢力の侵略激化に直面した中国を救おうと、「中国革命の先駆者」「国父」=孫文1866-1925 は、医学生から革命家に転じ、変法運動より早い時期に革命運動を始めた。
- 2) 孫文が結成ないし関わった政党を年代順にあげてみよう。孫文はこうして清朝打倒の革命派の陣営を築きあげた。
1894年 【5: 〃】を結成 ハワイ 1895年、広州で、1900年、惠州で武装蜂起をおこすも失敗。
1905年 【6: 〃】を結成 東京 華南・華中の各地で武装蜂起したが失敗。
複数の革命組織が大団結したもの。複雑な内部矛盾を抱えていたが、革命宣伝の大きな役割を果たした。その機関誌として有名なのは『民報』である。【頻出】
結成時(1905)に採択された四大綱領は既に三民主義を基本にしている。
(ア) 駆除鞑虜 (イ) 恢復中華 (ウ) 「創立民国」 (エ) 平均地権
1906年 【7: 〃】を発表。孫文の中国革命の基本理論。
民族 民族主義は満州族である清王朝を打倒して民族の独立をめざすこと。
民権 主権在民で五権憲法による民主主義を達成した共和国を設立すること。
民生 経済的な不平等を改善し国家主導の近代化と社会福祉を充実すること。
後の中国国民党の基本綱領として採用され中華民国憲法にその趣旨が記載されている。
1912年8月 宋教仁らは【8: 〃】を結成 (辛亥革命後、袁世凱政権下)
この国民党と1919年結成 [後掲 4) 参照] の中国国民党とは別物。後者の略称は国民党なのでややこしい！
1914年 【9: 〃】を結成 (秘密結社) 東京
1919年 【10: 〃】を結成 中華革命党を改組した大衆政党である。非常に重要。

辛亥革命は四川暴動から始まった

- 1) 1911年、満州人貴族を中心に成立した内閣は1911年5月に【11: 〃】の国有化を発表した。これらを担保に諸外国から借款を得て鉄道建設を進めることが目的である。このように、改革もすべては清朝の延命策にすぎないことが明らかになると、反清朝、反満州族の風潮を抑えることはできなくなった！特に鉄道国有化は、革命派だけでなく民間鉄道を所有したり建設を計画していた民族資本家らの立憲派も反対であり、各地で激しい反対運動が起きた。
- 2) 清朝が鉄道国有化を撤回しないと見ると、ついに1911年9月 四川省では鉄道国有令反対の武装蜂起が起きた。
これが【12: 〃】(略図の①) である。以下②③・・・は、略図上の番号である。
鎮圧のための兵力移動の過程で、1911年10月、【13: 〃】で軍隊が蜂起 (武昌蜂起)、清朝からの独立を宣言。多くの地方で独立宣言が行われた。清朝は、直隸 (河北省) 総督・北洋大臣の【14: 〃】を総理大臣に任命、鎮圧を命じた。1911年12月、孫文は急遽帰国。袁世凱は密かに革命派と連絡をとった。

辛亥革命 (=第一革命) ①②…は略図上の番号と一致



1911年9月 四川暴動で辛亥革命始まる
 1911年10月10日、四川暴動鎮圧のため手薄になった武昌で**湖北新軍**が清朝打倒のため**挙兵**、武漢三鎮(武昌、漢陽、漢口)を支配。革命は華中・華北に波及、14省が独立を宣言。革命軍は帰国した【15: 】を臨時大総統に選出し、1912年1月1日 ③南京で【16: 】※1の樹立を宣言。
中国史上はもちろん、アジア史上で最初の共和国!
 略称は「民国」。しかし、中華民国政府には資金がなかった!

清朝から鎮圧を命じられた袁世凱は、中華民国(孫文)と取引した。
 《袁世凱を臨時大総統にすることと交換に、皇帝を退位させ、中華民国に資金援助する》

1912年2月 ④【17: 】退位 ※2、清朝滅亡!
 1912年3月 袁世凱、臨時大総統に就任 臨時約法(憲法)発布
 4月 首都を北京に移す。

ここまでを辛亥革命(第一革命)と呼ぶ
 清朝は滅亡し中華民国政府はできたが、三民主義など中国革命の目標の実現にはほど遠かった!

- ※1 現在台湾を実効支配している政権はこの政権の継承者を自認する。(当然正式名称は同じ)。
- ※2 清の最後の皇帝宣統帝溥儀がその後にとどった運命を映像化したのは、映画「ラストエンペラー」。

中華民国政府は成立した……しかし、それは袁世凱政権だった! ⑤⑥⑦⑧は略図上の記号。

- 1) 1912年8月、革命派は中国同盟会を中心に小政党を併合して**国民党**を結成した。様々な党派を糾合して選挙のために作られた議会政党である。理事長は孫文、実権は**宋教仁**。最初の国会議員選挙に勝利し、袁世凱を牽制した。なお、孫文は宋教仁の提唱する議院内閣制に賛成ではなかった。
- 2) 袁世凱は国会を解散し、国民党を弾圧した。
- 3) 1913年3月 袁世凱は議院内閣制を推進する宋教仁を上海に刺客を送って暗殺。
 1913年7~9月 江西で ⑤ **第二革命** 勃発 袁世凱の専制と国民党弾圧に対する革命である。
 しかし、国民党は統一を欠き第二革命は失敗。袁世凱は正式に大総統の地位に就き独裁はかえって強化された。
 1913年11月 袁世凱は国民党に解散を命じた。
 1914年7月 孫文は東京で**中華革命党**を結成(秘密結社)。 1919年に中国国民党(大衆的政党)に改組
- 4) 第一次世界大戦の勃発により、日独が山東半島で交戦開始。中立国である中国は交戦区域を設定し、日独の交戦を容認したが、日本軍は交戦区域外にも進出、青島占領後も一部中国領の占領を継続した。中国政府は強く抗議した。
- 5) 第一次世界大戦中の1915年、袁世凱は、⑥日本の「二十一条要求」のほとんどを認めた。
 「二十一条要求」を境に、**日本と中国のナショナリズムは袂を分かった**、と言われる。日本では、リベラルな思想で名高い吉野作造さえ「事ここに至れば最後通牒を発するの他に取るべき手段はない」と断じた。
- 6) 1915年12月 雲南で ⑦ **第三革命** 勃発
 袁世凱の帝政復活の企てに反対する革命。帝政を取り消させた。
 1916年1月 袁世凱、帝政宣言
 1916年3月 帝政取消
 1916年6月 病死

このつづきはNo.178

辛亥革命を機に独立に向かう諸民族

- 1) 1911年、【18: 】が独立宣言
 その後、1924年にソヴィエト連邦の影響でモンゴル人民共和国が成立。史上2番目の社会主義国。
- 2) 1913年、チベットでダライ=ラマ13世 ※3 が独立宣言
 ※3 現在のダライ=ラマ14世の先代。「転生」で継承するため血縁はない。

2007立命館 抜粋 改変

正解【1】民報【2】民生主義【3】日本

- 【1】中国同盟会が創刊した機関誌を記せ。
- 【2】孫文は中国同盟会の綱領として3つの主義を打ち出した。民族主義、民権主義ともう一つは何主義であったか。
- 【3】立憲派の政治運動は義和団事件以後、革命運動に取って代わられたが、康有為の盟友として働き後に袁世凱内閣にも入閣した梁啓超が、かつて、戊戌政変後に亡命した国はどこか。